



シンポジウム「ドーンと農・食・環境のまちづくり」を開催

概要

糸島現代GPは、シンポジウム'08「ドーンと農・食・環境のまちづくり」を開催します。今年度は、「糸島で学ぶ、糸島を学ぶ（糸島現代GP教育）」が教材として取り上げている「農」「食」「環境」と「まちづくり」をテーマとして4つの分科会を設定しました。テーマにみえる地域の課題に、参加者とともに学生、教職員が挑戦します。九州大学・地域協働の発信を目指すものです。

背景

昨年度、文科省平成19年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム「地域環境・農業活用による大学教育の活性化—ネットワーク型農学校が大学と地域の未来像を創造する—」に採択されました。このプログラムを「糸島現代GP」と名付けています。糸島現代GPでは、九州大学と糸島地域とが有機的に連携して、糸島地域に存在する豊かな資源を活用した教育研究を行うものです。このプログラムは、九州大学の主に全学低年次生を対象としています。今年度は、総合科目「糸島の水・土・緑」と少人数セミナー「糸島の環境保全のすすめ」を授業として行いました。授業では、地域の農業従事者の講師としての招聘や、地域の農漁業の現場でのフィールドワークの実施を通して、地域の農漁業の実状等を学びました。これは九州大学にとっては新しい教育基盤であるとともに、糸島地域の活性化、農林水産業の活性化にもつながるものと考えています。更に来年度の授業化を目指して、現在、糸島地域の協力を得ながらいくつかのプロジェクトを展開中です。

これらの取り組みを通じて見えてきた糸島地域の課題には、地域と九州大学が一体となり知恵を出し合うことによって、より良い解決策を見出し、これを基に同地域の活性化を地域の皆様と考えていきたいと思えます。

内容

開催日時 平成20年12月13日（土）13時～17時まで

開催場所 九州大学伊都キャンパス 西講義棟

プログラム 13:00 開場 ポスター展示

・糸島現代GP活動報告

・誇るべき筑前農法、貴重資料の展示

13:30 開会挨拶（有川節夫 九州大学総長）

14:00 分科会

・分科会A

「糸島地域と九大伊都キャンパスのこれから

～学生のライフスタイルを通してまちづくり考える～」

: パネリスト 今泉九大副学長、岩崎福岡市西区長、松本前原市長
筒井二丈町長、末崎志摩町長、他

・分科会B

「糸島地域の農業と九州大学

～地域の水産業と畜産・飼料生産を考える～」

: パネリスト 松山九大教授、後藤九大准教授、中野九大助教、
徳留エコステージエンジニアリング社員

- ・分科会C
「糸島地域の食育と九州大学
～糸島地域の食と農を守るために私たちが考えること～」
：パネリスト 比良松九大助教、志摩町及び前原市の就農者、他
- ・分科会D
「糸島地域の環境と九州大学
～環境資源と上手に向き合う農業を考える～」
：パネリスト 金丸福岡県農業改良普及センター技術主査、北野九大教授、平井九大准教授

15：50 全体会
・分科会報告、各市町長からの一言、全体討論
16：50 閉会挨拶（吉村 淳九州大学農学研究院長）

参加費 無 料

■効 果

地域の多くの方々の参加、討論によって、九州大学のよりよい教育の構築に留まらず、今、問われている日本の農・食・環境問題に関して糸島地域の視点から捉えた幅広い意見交換が糸口となって、九大の教育力上向とともに、地域活性化の一助となることが期待されています。

■今後の展開

糸島現代GPは、今年度の実施事業を踏まえ、来年度は地域資源を活用した授業のさらなる拡大を目指しています。

これらの授業には、糸島現代GPが計画している農村留学、小中学校体験学習受け入れ、シルバー世代受け入れなどを盛り込む予定です。地域との交流をこれまで以上に深め、地域協働の実をあげ、よりよい大学と地域との関係構築に尽力します。

【お問い合わせ】

伊都キャンパス農学研究院分室（吉木、金山）

電話：092-802-4700

FAX：092-802-4700

Mail：ito-office@agr.bpes.kyushu-u.ac.jp